

4. 学校を拠点とした地域づくり

- (1) 学校を地域に開放し、全ての世代で支え合う地域づくり
- (2) 地域の連携で子どもの安全確保
- (3) 学校を防犯・防災の拠点に
- (4) 施政方針の「学校施設等の有効活用」の内容・目的・効果について
- (5) (仮称) ふれあいランチの実施について

【答弁】

4. 学校を拠点とした地域づくりについての(1)～(5)について、順次お答えいたします。

まず、はじめに(1)について、お答えいたします。

近年、本市においても少子・高齢化が進むなかで、子どもたちが地域で安心して伸び伸びと過ごし、健やかに育つことができるよう、地域・家庭・学校が十分に連携することが大切であると認識しているところでございます。

本市の小中学校におきましては、これまでから、総合的な学習の時間や学校行事をはじめとしたさまざまな教育活動において、高齢者も含め地域の方のお力をお借りしながら、出合いや協働を通して子どもたちの学びを深める機会を設けているところでございます。

このような、地域と連携した取組みの充実にあたりましては、地域の子も同士や、子どもと大人、大人同士が交流し、つながりを築いていくことや、地域の教育コミュニティづくりを推進していくことが重要であり、さらには、そのための活動拠点を設ける必要があると認識しているところでございます。

本市におきましては、学校・地域・家庭・行政の連携・協力をさらに推進するために、現在、余裕教室活用指針の見直しを進めており、各学校の余裕教室等を「地域活動拠点」として活用すべく、場所の選定や必要となる工事も含め各学校と協議、調整を進めているところでございます。

本市といたしましては、子どもや保護者、地域の方々等、全ての世代で支え合う地域づくりを進めるために、学校施設等を活用することの有効性を認識しておりますことから、地域の活動拠点としての学校施設等の活用に向け取組みを進めてまいります。

次に、(2)について、お答えいたします。

現在、市内の各小学校におきましては、子どもの登下校時の安全確保を図るために、地域や保護者の方々にご協力いただき、子どもの安全見まもり活動を実施していただいているところです。さらには、青色防犯パトロール活動により、地域の子どもたちの見まもりを行っていただいている校区もございますが、より多くの校区において活動を行っていただけるよう、活動費の助成制度の周知を行ってまいります。

本市といたしましては、このような見まもり活動を持続可能なものとしていくために、見まもり活動にご協力いただいている方々との連携を密にし、通学路の安全に関する情報や見まもり活動に関する情報の共有を進め、地域との連携による子どもたちの安全確保に向けた取組みを進めてまいります。

次に、(3)について、お答えいたします。

議員ご指摘のように、学校が普段から地域の方々の集える場所であることは、防犯や防災の観点からも有効であると認識しております。

特に、防災につきましては、近年、重大な災害が各地で発生しており、災害発生時には学校が避難所としての機能を果たすこととなります。各小中学校におきましては、災害発生時の避難訓練を実施しておりますが、地域別防災訓練等補助金も活用し、地域とともに防災訓練を実施している小学校もございます。

加えて、日頃より地域の方々が交流し、情報共有できることは、安全・安心な街づくりにもつながるものと認識しておりますことから、こうした観点からも、学校施設等の有効活用について検討を進めてまいります。

次に、(4)について、お答えいたします。

現在、学校におきましては、児童生徒数の減少に伴ってうまれた余裕教室につきましては、英語教室や少人数教室、通級指導教室等として活用しているところ

でございます。しかしながら、今後も、児童生徒数の減少が見込まれることや、学校は、地域の方々が集まりやすいという利便性もございますことから、学校施設等を地域の活動拠点として有効活用できるよう、余裕教室活用指針の見直しを進めているところでございます。

本市といたしましては、学校施設等を地域の活動拠点として活用することにより、高齢者や子育て中の保護者の方々等が集い、顔の見える関係がつけられ、地域活動が活性化したり、安全・安心な地域づくりが進んだりという効果が期待できるものと考えているところでございます。

次に、(5)について、お答えいたします。

現在、地域の方々や高齢者のみなさまに子どもたちと学校給食を体験していただく「ふれあい給食会」の実施を検討しているところでございます。

「ふれあい給食会」は、令和2年度より、順次、各小学校ごとに実施を予定しており、これにより、子どもと地域の方々とのつながりや、地域の方々同士のつながりが深まっていく効果を期待しております。

今後、「ふれあい給食会」の具体的な実施時期や内容について、各小学校の教育活動との関連や学校・地域の状況に応じて、準備を進めてまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、学校と地域・家庭・行政が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくことが大切であります。

本市といたしましては、今後、高齢者の方々を含め、すべての世代が集い、交流できる地域づくりの拠点を設ける重要性を認識しておりますことから、今後、学校施設等の有効活用に向け、取組みを進めてまいります。

以上で、お答えとさせていただきます。